

基盤整備への理解深めて

十勝総振北部耕地出張所
平田建設の協力で学習会

士幌高生が貴重な体験

出前授業は、将来を担う生徒たちを対象に、地域の基幹産業である農業の重要性や、農業農村整備の役割について理解を深めてもらうと開催したもの。アグリビジネス科（農業）の三年生二十五人が参加した。

当日の現場は平田建設が請け負う「畑地帯育成西上第2地区81工区」（現場代理人・松崎光春氏）で、「パネル班」「現場班」「測量班」の三班に分かれて学習会を実施した。

うちパネル班では、暗渠排水や客土、石礫除去などの工種や、それぞれの整備効果について説明。帯広農業高校を卒業し、ことし入庁した同出張所の新人職員は、生徒たちに仕事のやりがいや魅力などを伝えた。

一方、現場班は暗渠排水工事の様子を間近で見学したほか、測量班は水準測量

【帯広発】十勝総合振興局北部耕地出張所は十一日、農業教育の一環として「士幌高校と連携した学習会（出前授業）」を開催した。（株）平田建設（士幌、野中栄忠社長）協力のもと、暗渠排水工事の様子を見学したほか、水準測量などを体験。生徒たちは、農業農村整備事業の必要性などについて理解を深めていた。



を体験した。さ

らに、受益者の声として、足立雅人氏が事業参加に至る背景や工事後の効果等

水準測量体験
など実践的な
授業が行われ
た

を説明。昨夏の台風災害等を例に挙げながら、基盤整備の必要性を訴えた。
参加した生徒は「実践的な内容でも勉強になった」「貴重な経験ができた」などと話していた。